

## 10月21日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●2007年のプーチンのアメリカ観(投稿:2022年10月20日)

2007年ミュンヘン安全保障会議にて、プーチン大統領がアメリカの世界統一政府、グレートリセットの危険性を指摘。「アメリカはあらゆる意味で国境を侵している。その証拠に、経済・政治・文化・教育の政策を他国に強要している」

[https://twitter.com/monmi\\_1st/status/1581515989849886720?t=aMNmt-XNkTjKrvzus\\_qd4g&s=09](https://twitter.com/monmi_1st/status/1581515989849886720?t=aMNmt-XNkTjKrvzus_qd4g&s=09)



プーチンが何を言い出すか、出席者は真剣に聞こうとしているようだ。

### ●安倍元総理でさえ NATO の東方拡大に懸念(投稿:2022年10月20日)

日曜報道(2022年2月27日)：安倍元総理がプーチン大統領のウクライナ軍事作戦について語る。「過剰な NATO 拡大が今回の軍事作戦を招いた可能性がある。」

[https://twitter.com/monmi\\_1st/status/1576385508087037952?t=7EPwrY5-Ru0PIFet4uB6ow&s=09](https://twitter.com/monmi_1st/status/1576385508087037952?t=7EPwrY5-Ru0PIFet4uB6ow&s=09)



右上に「ウクライナ“侵略”」と「侵略」という言葉をわざわざ“”で括っている。  
侵略と単純に言い切れないというニュアンスが感じられる。

### ●ロシア・プーチン大統領 招集兵訓練所を初視察(2022年10月20日)

プーチン大統領は新型狙撃銃を試射した後、その場を去ろうとしたが、振り返って兵士の一人に対し

「どんな家族がいるのか？」と問い掛けた。兵士が「5歳の娘がいます」と答えると、プーチン氏は兵士と抱擁を交わし、「幸運を祈る」と伝えた。

<https://twitter.com/afpbbcom/status/1583307121700978688?t=LnyZTVjU-V62R1s7qTfoVQ&s=09>



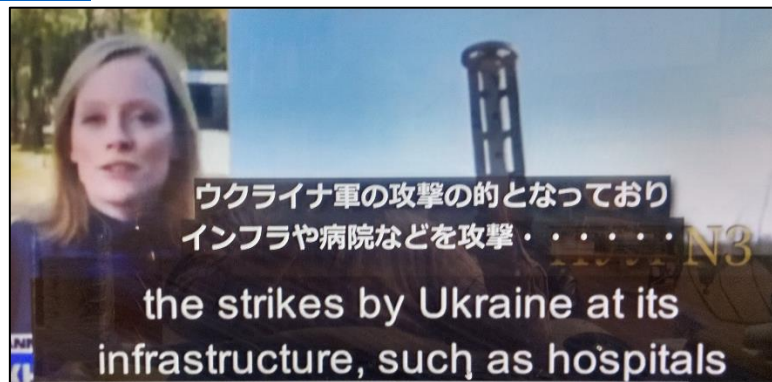
兵士が「5歳の娘がいます」と答えると

※安齋注:プーチンが兵士と抱擁を交わした部分は、日本のテレビニュースではカットされていた。  
「悪魔のプーチン」は人間的であってほしくないんでしょうね。

### ●ヘルソンからの中継での禁句発言(2022年10月21日)

フランスのテレビ中継中、ヘルソンの現地にいるアンが、「ウクライナ軍がインフラや病院を攻撃している」と本当のことを言ってしまって中継中断。(日本語字幕あり)

<https://twitter.com/Jano661/status/1583154905300467712?s=20&t=Z9Ku5qY17einuL5xxLGJNw>



### ●ヘルソン当局のさらなるウクライナ 3 地域解放計画(2022年10月20日)

ヘルソン当局はウクライナのさらに3つの地域を解放する計画を明らかにした。これはストレムソフの行政副長官が今までの4地域に加え、南部の港湾リゾート地でありオデッサ・マイダン発祥地の①オデッサと②ニコラエフ、③ドネプロペトロフスクを解放する計画を明らかにした。

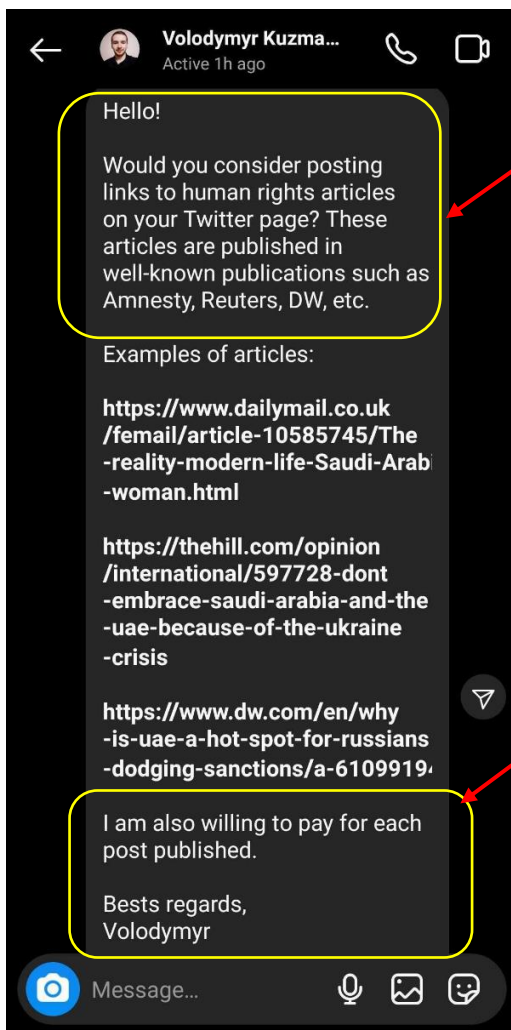
[https://twitter.com/TeiichiAoyama/status/1583078941656391685?t=yYhfErwpp\\_9bwOIQkawq4w&s=09](https://twitter.com/TeiichiAoyama/status/1583078941656391685?t=yYhfErwpp_9bwOIQkawq4w&s=09)





### ●ウクライナ・ジャーナリスト、金でプロパガンダ記事を買収(2022年10月20日)

カナダ人ジャーナリストの証言:「あるウクライナのジャーナリスト(ヴォロディミール・クズマ)が、私が親ウクライナのプロパガンダを推進したら、数千ドルの闇金を支払うと申し出てきた。彼によると、彼はすでに他のジャーナリストを雇っていて、数回ツイートしたら、平均的なウクライナ人が1ヶ月で稼ぐ以上の金額を私に支払うとのこと」。



こんにちは！  
あなたの Twitter で、人権に関する記事へのリンクを貼っていただけませんか？ これらの記事は、Amnesty、Reuters、DWなどの有名な出版社に掲載されます。  
※注: DW=ドイツ連邦共和国国営の国際放送事業体。ラジオ、テレビ、インターネットなどのサービスを提供。

また、掲載された各記事に対しては報酬を支払います。  
よろしくお願ひします。  
ヴォロディミール



## ●カホフカ水力発電所をめぐる情報合戦(2022年10月20日)

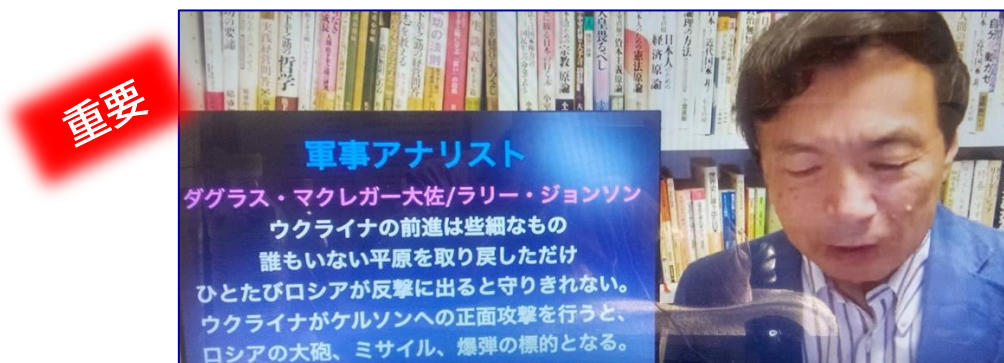
ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は10月20日、ビデオ演説で、ロシア軍が一方的に併合した南部ヘルソン州のカホフカ水力発電所のダムに爆発物を設置したとの情報があると述べた。しかし、一方では、ウクライナが「ロシアがやったように見せかける偽旗作戦をやろうとしている。偽旗作戦以外にできることがなくなった」との見方もある(戦況については、次の動画も参照のこと)。人為的に洪水を起こせば数十万人に被害が及ぶ恐れがあると言われる。



## ●バイデンとゼレンスキーが必死に煽っている核戦争を世界は止められるか(及川幸久、2022年10月15日)

ウクライナ戦争の現在の戦況についてのダグラス・マクレガー元米軍大佐らの見方も踏まえつつ、バイデンのハルマゲドン恐怖宣伝、ゼレンスキーの核先制攻撃要請などの背景を見すえる。

<https://youtu.be/sC1Ih6hcMo>



## ●英国のリズ・トラスが予想通り辞任、史上最短の首相となる(2022年10月21日)

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1583268585459548160?t=v6X3W9o\\_kzhX2VIEepWgzw&s=09](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1583268585459548160?t=v6X3W9o_kzhX2VIEepWgzw&s=09)



## ●イタリアで戦争反対、NATO 反対、ロシア制裁反対デモ(2022年 10 月16日)

[https://twitter.com/Tamama0306/status/1581605424461393923?t=cKNX\\_Bagxfii17EBj7DFUg&s=09](https://twitter.com/Tamama0306/status/1581605424461393923?t=cKNX_Bagxfii17EBj7DFUg&s=09)



## ●ドイツ、インフレで倒産相次ぐ(2022年10月21日)

創業 125 年以上のドイツ企業 4 社がインフレにより 24 時間以内に破産宣告。

建設会社 Wolff Hoch- und Ingenieurbau 斜め創業 125 年

メントール菓子で有名な Bodeta 斜め創業 130 年

自動車部品メーカーBorgers 斜め創業 156 年

石鹼メーカーKappus 斜め創業 174 年



## ●ウクライナ軍の破壊工作・偵察グループをロシア軍が阻止(2022年10月21日)

ロシア国防省が10月21日に発表したところによると、ウクライナの最大 20 の破壊工作・偵察グループがニコラエボ-クリボイログ方面のロシア軍後方に潜入しようとした中隊戦術グループによる 2 回の攻撃の試みを夜間に阻止した。



## ●ロシアの人権オンブズウーマンの弁(2022年10月21日)

ロシアの人権オンブズマン・モスカルコワ女史は、ケルソンの橋への砲撃は、「民間人を標的にした殺害は、前例のない人道に対するあからさまな犯罪である。国際機関や人権団体に訴えた。この暴挙に終止符を打つ必要がある」と自身のテレグラムで述べた。



## ●ロシアの報道官の西側諸国に対する見立て(2022年10月21日)

ロシアは10月21日、リズ・トラス英国首相が辞任した翌日、英国や西側諸国の同盟国からいかなる「政治的知恵」も期待しないと述べた。

クレムリンのドミトリー・ペスコフ報道官は、「西側諸国の誰からも、いかなる洞察や政治的知恵も期待できない...特に、現在の行政のトップが国民によって選ばれていないイギリスからは」と述べた。

彼は、ボリス・ジョンソン前首相がダウニング街への復帰を視野に入れていると報じられたことについての質問に答えていた。

ロシアが2月にウクライナに軍隊を派遣して以来、モスクワとロンドンの関係は記録的な低水準に沈んでいる。

ロシアは、ウクライナのヴォロディミル・ゼレンスキー氏と良好な関係にあったジョンソン氏を、特に非友好的な西側諸国の指導者とみなしていた。

英国はウクライナに軍用ハードウェア、資金、訓練資源を提供してきた。

リズ・トラス首相が木曜日に就任からわずか6週間で辞任を表明した後、ロシア外務省は、英国は ”これほど不名誉な首相を知らない ”と述べた。



ドミトリー・ペスコフ報道官

## ●戦線に赴く先生のお別れ会(2022年10月21日)

サラトフ州の州都サラトフの大学の先生が、入隊局から召集令状を受け、戦線に赴く。

先生のために、生徒たちがお別れ会を企画した。

